

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
番地 電話 八四 弘成
印刷 福島縣石城郡平町新屋町十四
番地 電話 八四 弘成
發行 福島縣石城郡平町新屋町十四
番地 電話 八四 弘成
一頁五分 二頁一元 三頁二元
廣告料 一月十元 三月三十元
訂金 半年六十元 一年一百元
印刷 日本印刷株式会社
電話 東京二丁目 電話 八四
印刷 日本印刷株式会社
電話 東京二丁目 電話 八四

關係町村躍起となつて 鑛業税移譲の運動

貴族院を通過すれば 石城に七萬圓轉げ込む 平町會は

九日頃開會か

鑛業税の半額地方委員が假りに
今議會を無事通過(これが改正
法案は衆議院に於て委員會を
通過)するとなれば早くも明後
七年度から實施されることであ
り、また運送貴族院で否決さ
るれば今後における同問題の影
響は極めて薄くなるので關係町村
では文字通り死物狂ひとなり最
後の難所である貴族院に向つて
猛烈な實現運動を試みてゐるが
若し運動が奏効して半額減額と
なると石城郡では約七萬圓が關
係町村に轉がり込むことになり
その内内郷村は約二萬八千圓、
湯本町一萬六千圓、好間村八千
七圓、赤井村三千三百圓、勿來
町二千四百圓を頂戴出来ること
になる。

消防講習會に出席

平町消防小頭高野得助、鈴木長
三郎兩氏は六日、七日兩日原町
に開かる、消防講習會に出席の
ため出張した。

工費六十五萬圓の 小玉川発電所工事

四月中旬には竣工 電力は全部日立に賣る

平電力會社夏井水系石城郡赤井
村字高落字下地内小玉川筋に目
下建設を急いでゐる小玉川發電
所は総工費六十五萬圓を投じて一
千八百キロの電力を産する第一、
しては夏井水系に有する第一、
しては夏井水系に有する第一、
しては夏井水系に有する第一、

石城産業組合で 功勞事務員表彰

平胡摩澤に 三等局設置 四月一日開局

産業組合石城郡部會では五日午
前十時から平町四丁目マルトモ
ビルで總會を開き理事選舉の結
果平町加藤敏義、江名町太清左
衛門、勿來町小松清三、三氏當
選し終つて信用組合事務の功勞
者として左の三氏を表彰した。
▲江名組合書記四家忠平
▲四倉組合書記宮内篤二
▲植田組合書記中川利安

在郷軍人總會

石城郡内各町村の衛生主任會は五
日午前十時より同村小學校講
堂に於て開催し縣よりは在郷軍
人分會福島支部長佐藤正大佐及
石城分會部長陸軍少佐四家
桑吉氏等の講演あり午後二時散
會した。

磐崎の村議補選 結局無競争となる

笠間参拜團體

石城郡磐崎村では五日村議員四
名の補缺選舉を行つたが有権者
千三百九十一名の内約百名の缺
格者あり四時締め切り直ちに開票
の結果無競争にて左記四氏當選
した。
磯上寅治、吉田直文、矢内井
彦次郎、佐藤操吉

男の胸に縋りついて 離れぬ藝妓

死んでも別れられぬ 駆落藝妓平騾で捕はる

抱藝妓榮子事茨城縣那珂郡平磯
町生れ黒澤ナツ(二一)といふ
落者ど判つた、ナツは元茨城縣
太田町で藝妓をしてゐるうち小
林榮太郎と馴染み夫婦約束をし
たがその後須賀川町に鞍替えを
なつたので榮太郎は四日須賀川
まで逢ひに行き駆落の相談をし
て五日朝女は髪結ひに行くといふ
し家を出て郡山から平に來たも
ので、女は前借千二百圓あり取
押えた報に接し午後六時抱主が
平騾に引取りに來た處、死んで
も榮太郎さんとは別れられぬと
男の胸に縋りつき聲を出して泣
くので居合はせた署員も手古摺
つた由である。

平警察署で 失業者救済の妙案

貧困児童の 就學獎勵會

平署人事課所では近來のつき降客五〇七五二人、貨物發送四
り失業者や浮浪人の旅費もらひ二七七噸、到着一四一九五噸で
がふたのでたゞ汽車賃を惠む
のはよくない、一つ仕事を與へ
やうと署の窓ガラスや庭掃除で
もさせやうと考へてた折柄四
日東京市外西巢鴨町元漁夫宮本
眞(三二)及び新潟縣生れ元大工
遠藤常松(二八)の兩名が訪ね來
り北海道に職を求めて行く途中
針を商行して來たが買れ行き惡
くて無一文になつたから救助し
てほしいと申し出たので早速
兩名に煙突や窓ガラスを掃除さ
せて一圓づつを與へたので大喜
で歸つて行つた、今後も旅費を
貰ひ度いと願ひ出た者には難
役に使役した上旅費を支給する
方針である。

平驛業績

四倉驛二月成績

四倉驛二月分成績表左の如し
貨物發送噸數四千六百四十八
噸八分、同到着一萬六千二百
五噸一分、同賃金一萬六千二百
十四圓六十八錢、乘車人員一
萬八千八百七十八人、降車人員一
萬八千八百七十八人、乘車賃金二
千七百八十七圓七十六錢、手荷
物發送噸數二百〇九個、同到着
三百二十四個、小荷物發送噸數
四百四十二個、同到着一千〇六
十個。

紀念に宣傳

三月六日は産業組合紀念日に當
つてゐるので信用組合平庶民金
庫では自動車で信用組合利用に
ついて宣傳を行つた。

平驛業績

平騾の二
月中における乗客四五一九九九人

自彊術會 平支部民謡

飯村閑舟

雪は降ふと
霜しるかろと
若い血なみは
ドットドット打つよ
あかつき破つて
うふうぶ燃える
朝日 朝日の
ほのかのごとく
つくばおろしか
湯の嶽越えて
風はさつと吹く
肌にはしみる
されど銀えよ
はげめや吾等
自彊の天地に
愧ぢずと勵め
(三月三日病床にて)

三月雜詠

みちか夜のかりねに啼けるほ
ごきす我が胸を打ちほのぐ
らくせり。
友ごころゆたかに清し明けく
れに吾を思ひて忘れ給はぬ。
月あかり隈なく散りて白かね
の神々しさも言ひかねにけ
り。
鳥小屋をまわりませつ、月あ
かり仰げばゆかし星もきらめ
く。
このごろは身のかよわさに歎
きつゝ強く生きなんと朝なあ
せりつ。
(六、三、四、稿)

三陽製薬の

クレオソート製劑は
世界第一にして
治す事を目的とせり

キンクにて大評判
ニキビ、ソバカスのとれる
色白くなるエスゾール
(約一ヶ月分一圓)

第卅 石城産婆看護婦 募集

- 一、卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年
- 一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ
學力有ル者へ無試験入學ヲ許ス
- 一、申込期間 四月八日迄

平町一丁目 (電話三五七番)

石城産婆看護婦學校

校長 鷹崎千代

平陽女學校入學案内

文部大臣 認可 募集人員

師範科	二ケ年卒業	五十名
本師範科	二ケ年卒業	五十名
技藝高等科	二ケ年卒業	五十名
全速成科	一ケ年卒業	二十名
全専攻科	一ケ年卒業	二十名

右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添
へ三月末日迄ニ提出シテ下サイ
入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス
福島縣平町

平陽女學校

電話四四五番

耳鼻咽喉科 問專

平町仲田町七一

應入院 合津醫院

電話五五九番

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意 (自炊の便あり)
元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

磐城佑賢學舎生徒募集

- 一、本科 入 高等科卒業程度ノ男女
 - 一、普通科 學 尋常科卒業程度以上ノ男
 - 一、新農蠶科 格 高等科卒業程度ノ男女
- 一、右各科共ニ入學試験ハ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可ス
一、新學期開始 四月六日
一、詳細ハ規則書請求ノ事
昭和六年三月

磐城佑賢學舎

平町六間門二十番地 (電話九三)

生徒募集

産婆看護婦

修業年限 兩科を通じ一ケ年
願書提出 三月卅一日限り
詳細は學校宛申込まれたし
婦人にも職業の必要な時代が参り
ました。そして婦人にふさわしい
職業は産婆看護婦であります。

平陽看護婦學校

平町南町(電話平三〇七番) 校長 清野きよ

春衣新柄御案内

最も新らしき柄の
銘仙ミモスリン着尺
優秀特選
春の帯側
いつでも新品豊富に取揃へました
是非御覽下さい

三井呉服店

斷然賞讃を博しつゝある
實用白毛染 **八雲** 一瓶二五錢
一手販賣店 **山野邊藥局**

奉仕的本社愛讀者慰安會

久方振り御目見得
女流 **松竹會女流團來演**
浪曲 **松竹會女流團來演**
燦然として輝く **九重次子** 名花一輪
電氣應用引拔キ早變り名人
京山光右工門
松前平節千代若
雲井野小滿月代若
松春平一百鶴合
補助出重演 泰子

天稟の美聲妙調 **松平八千代** 現代浪曲の女王
當る **七日** 三日間 午後五時開場
後九日 午後五時開場
時節柄愛讀者 入場料大人 **金二十錢**
優待券ヲ發行セス 大勉強一等席
後援 **磐城時報社**
會場 **樂時報館**

笠間稻荷神社參拜 團體募集

- 一、期日 昭和六年三月二十六日(舊二月八日)午前五時
南町丸昌ホール集合 同日正六時出發
- 一、道程 自動車往復 笠間神社參拜祈禱 歸途磯濱大
洗神社 明治記念館拜觀魚來庵ニテ晝食
村松山虚空藏尊參詣 同日解散
- 一、會費 金四圓三十錢也(即納ノ事)
- 一、申込日 三月二十日迄トス

平商工團

笠間神社參詣團體申込所 電話四三九番

後援 いはらき新聞平支局

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番